

UCCE プロセスのトラブルシューティングためのパフォーマンスモニタで設定されるユーザー定義データ収集装置を作成して下さい

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[新しいデータ収集装置 セットを作成して下さい](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

この資料に UCCE および PCCE ソリューションのプロセス データを収集するために Windows パフォーマンスモニタで設定されるカスタム データコレクタを作成する方法を記述されています。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- UCCE
- Windows サーバ

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Unified Contact Center Enterprise (UCCE) バージョン 9.0.(x)、10.x、11.x
- Packaged Contact Center Enterprise バージョン (PCCE) 9.0.(x)、10.x、11.x
- Microsoft Windows サーバ 2008 年、2012

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

背景説明

ある特定の問題は Windows プラットフォームの詳細な分析を必要とします。これらの問題はきちんとそれらを解決するために広範囲のパフォーマンスモニタ データセットを集めることを必要とします。

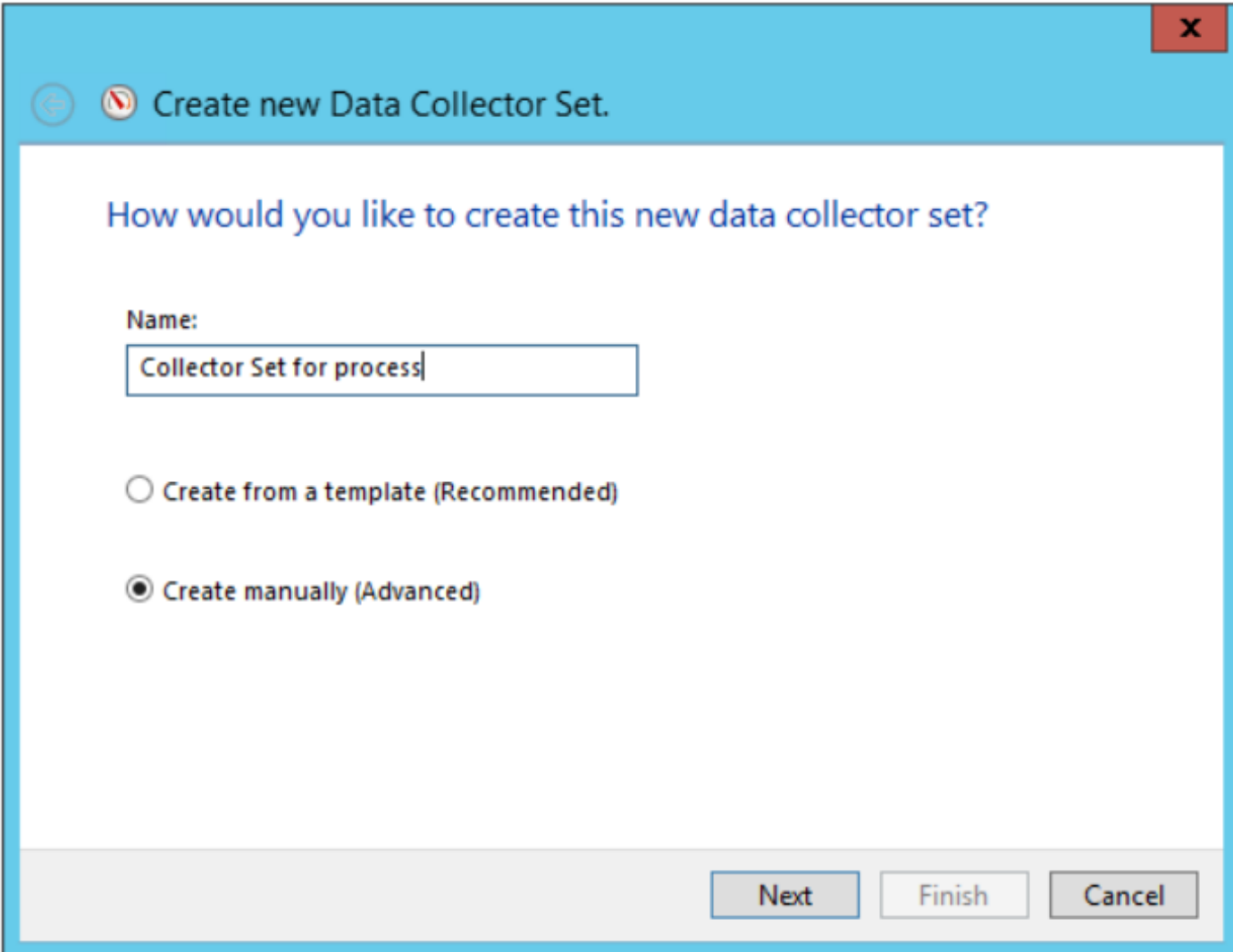
新しいデータ収集装置 セットを作成して下さい

ステップ 1. **開始する**を開き、検索ボックスのパフォーマンスモニタ (か perfmon を) 入力し、『Enter』を押して下さい。

ステップ 2. データコレクタへのナビゲートは > **ユーザが定義する**設定します。

ステップ 3. **ユーザが定義する**を右クリックし、> **データコレクタ セット** 『New』を選択して下さい。

ステップ 4 新しい Open ウィンドウでは**データコレクタ セット**の名前を、**手動で** 『Create』を選択し、(**進められる**)次に『Next』を選択しますタイプして下さい。



How would you like to create this new data collector set?

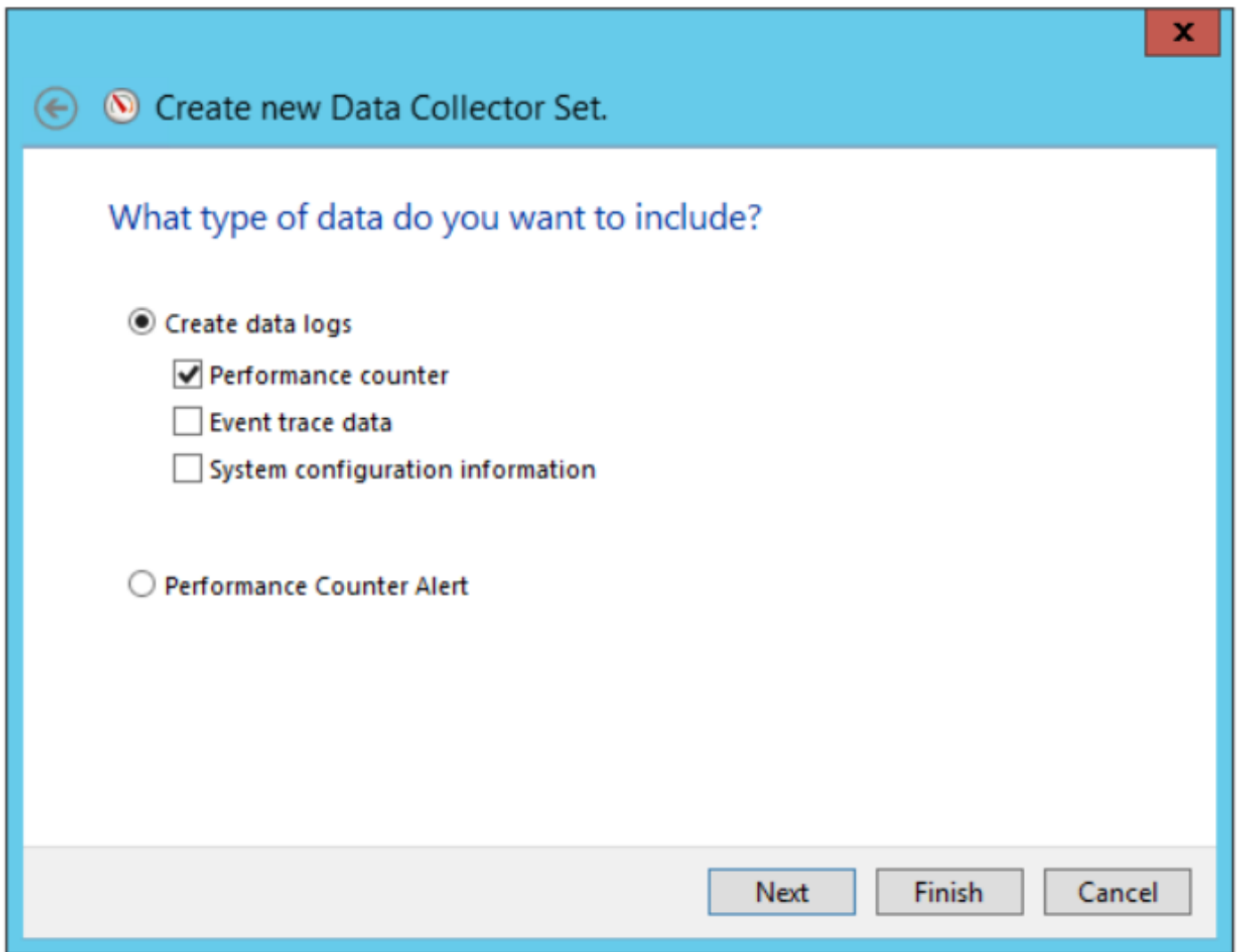
Name:
Collector Set for process

Create from a template (Recommended)

Create manually (Advanced)

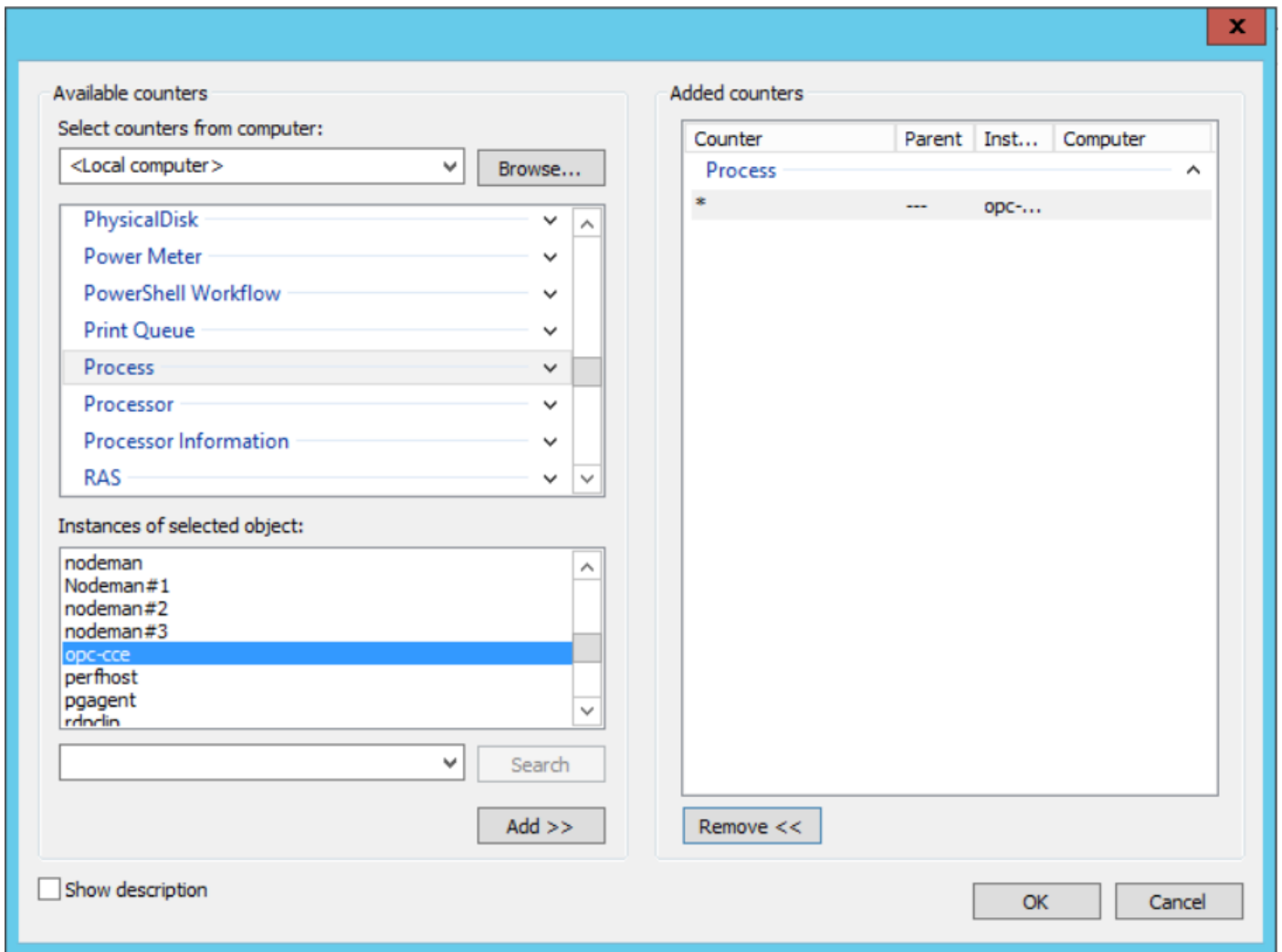
Next Finish Cancel

ステップ 5 Next ウィンドウでは**パフォーマンス カウンター** ボックスをアクティブにし、『Next』を選択するように**データ ログを**、します 『Create』を選択して下さい。

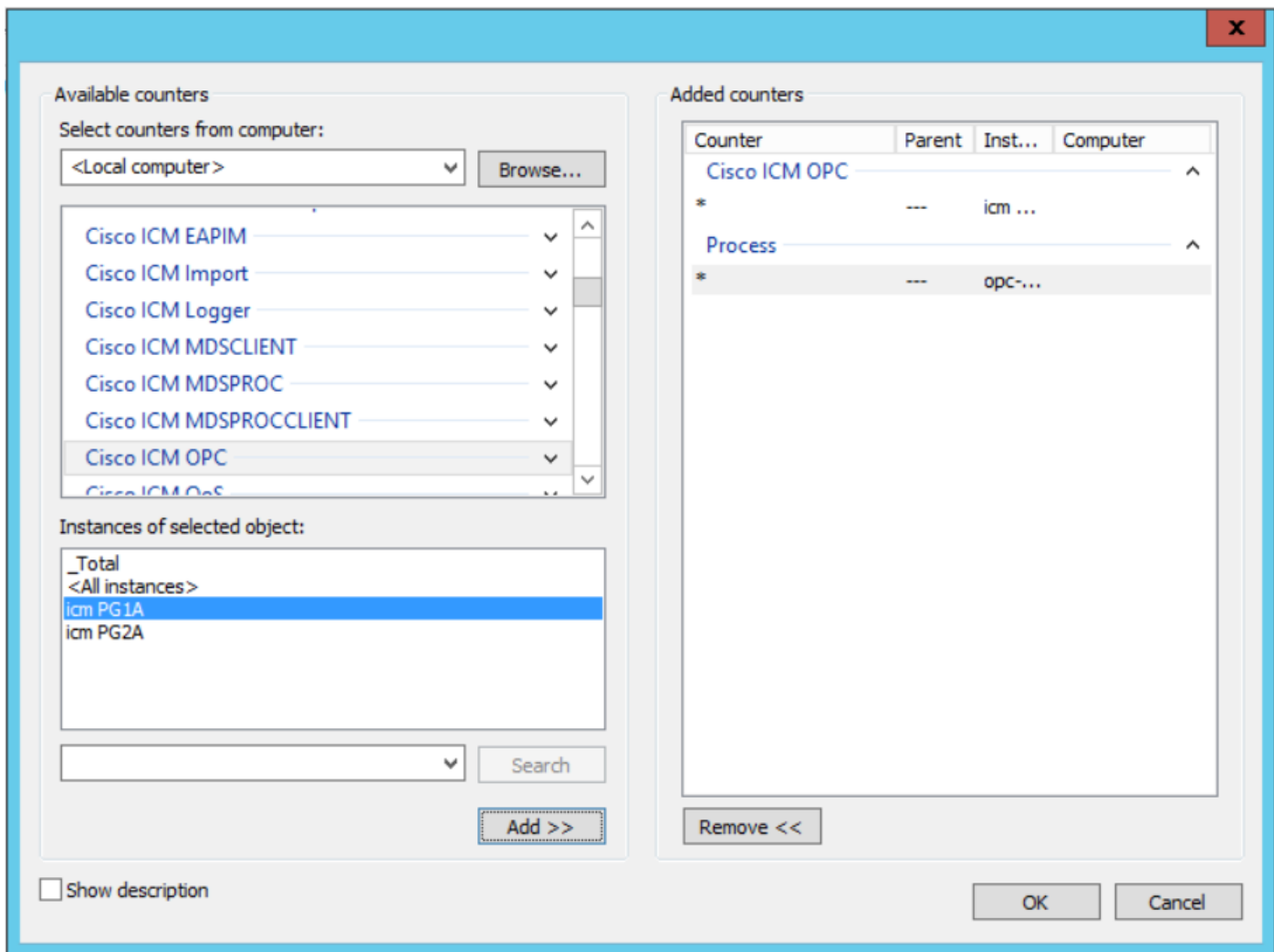


ステップ 6 Next ウィンドウでは『Add』を選択して下さい...を探します。

ステップ 7 New ウィンドウはポップアップします。コンピュータからの選定されたカウンターでは、プロセスを選択して下さい。それから選択したオブジェクトの例の下で監視したいと思うプロセスを選択して下さい。追加されたカウンターのリストのカウンターを挿入するために Add>> を選択して下さい

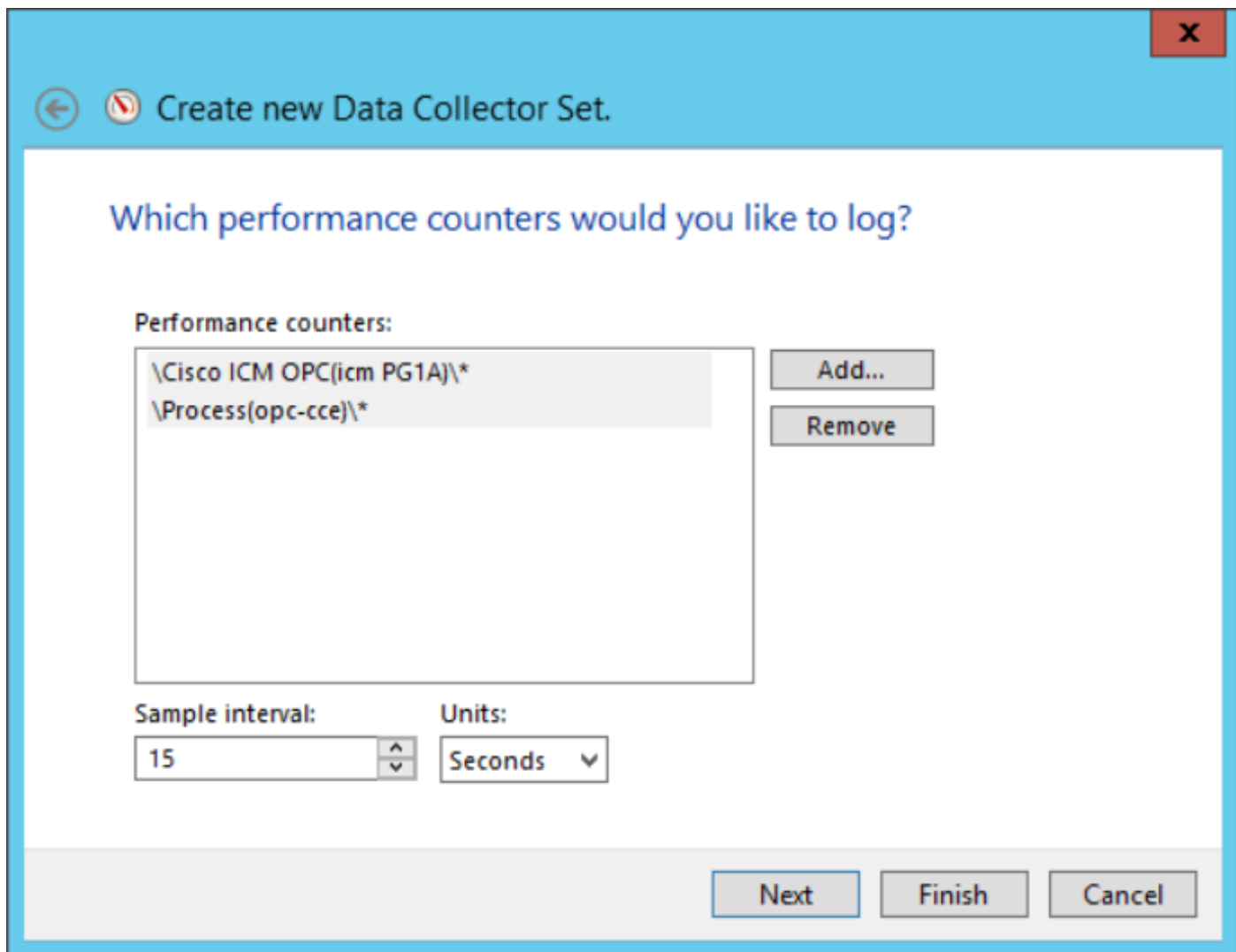


ステップ 8 コンピュータからの選定されたカウンターでは、選択したオブジェクトの例から接続される『Add』を選択します >> 選択して下さいことプロセス Cisco ICM process_name を、選択し、コンピュータの例を。

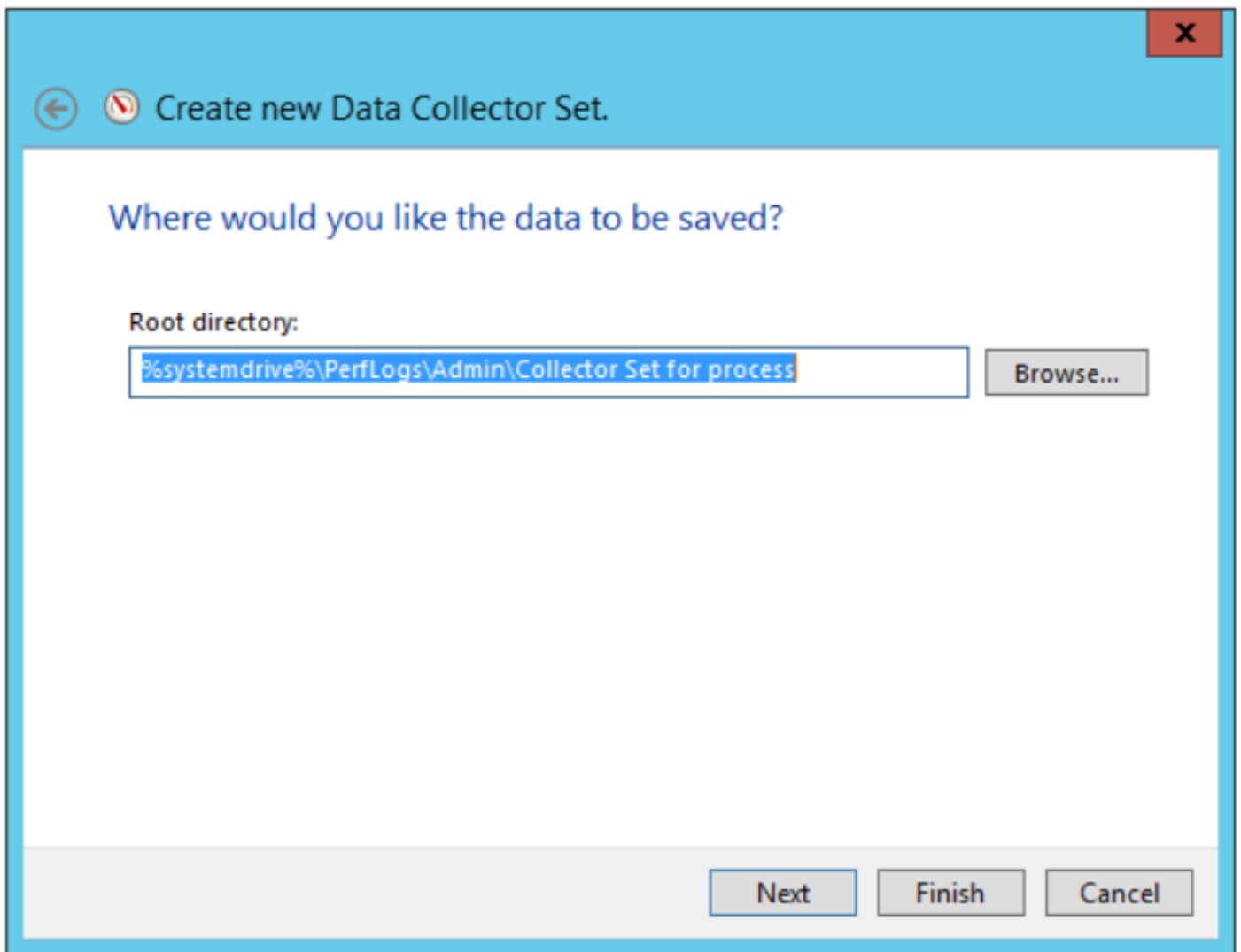


ステップ 9 必須カウンターによって終わった後、『OK』を選択して下さい。追加されたカウンターはパフォーマンスカウンターリストで利用できます。サンプル間隔の値を入力し、ユニットを選択し、『Next』を選択して下さい。

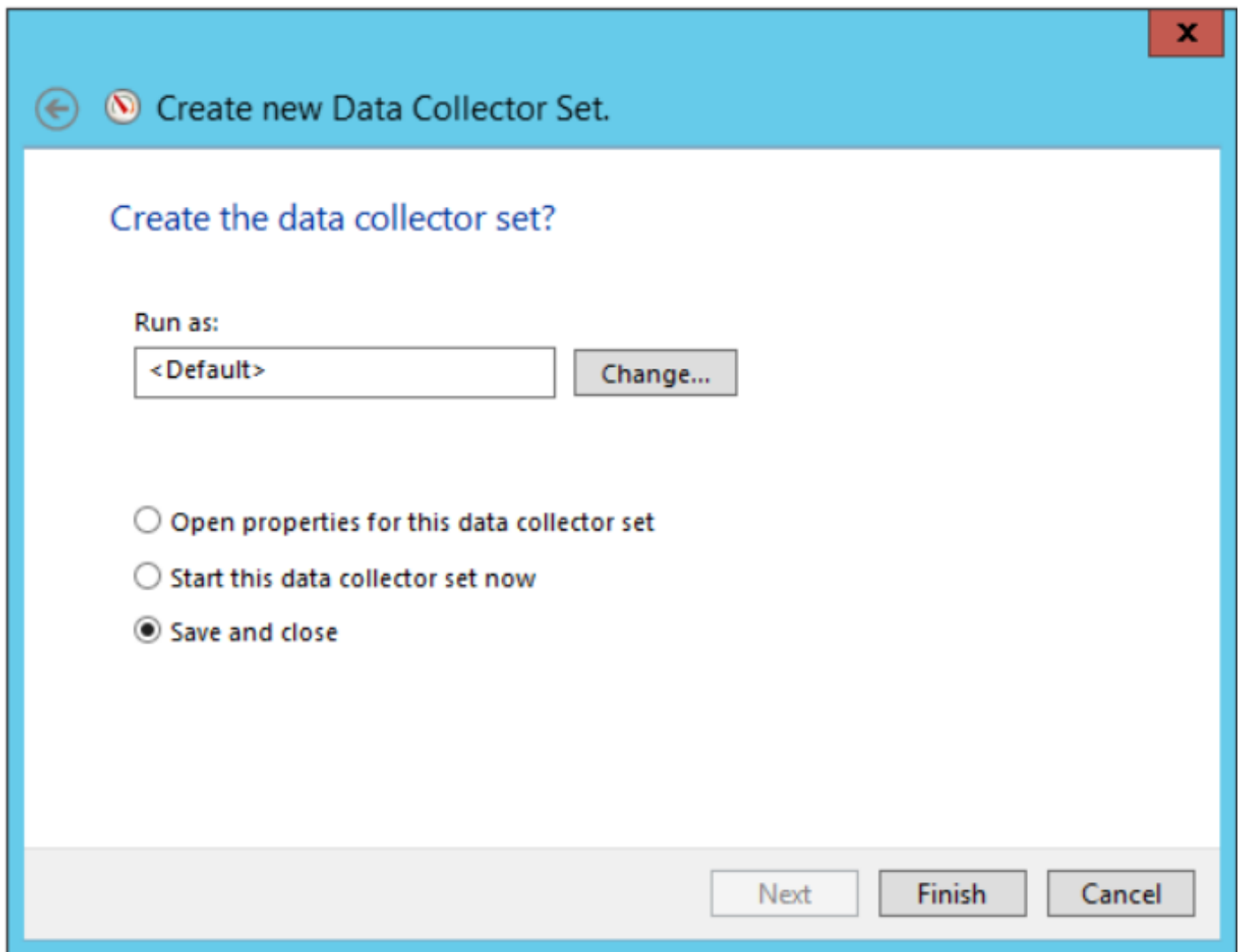
注: 間隔の推奨値は 15 秒です。パフォーマンス上の問題があれば設定されるデータコレクタを停止し、より大きい間隔のこの値を変更して下さい。



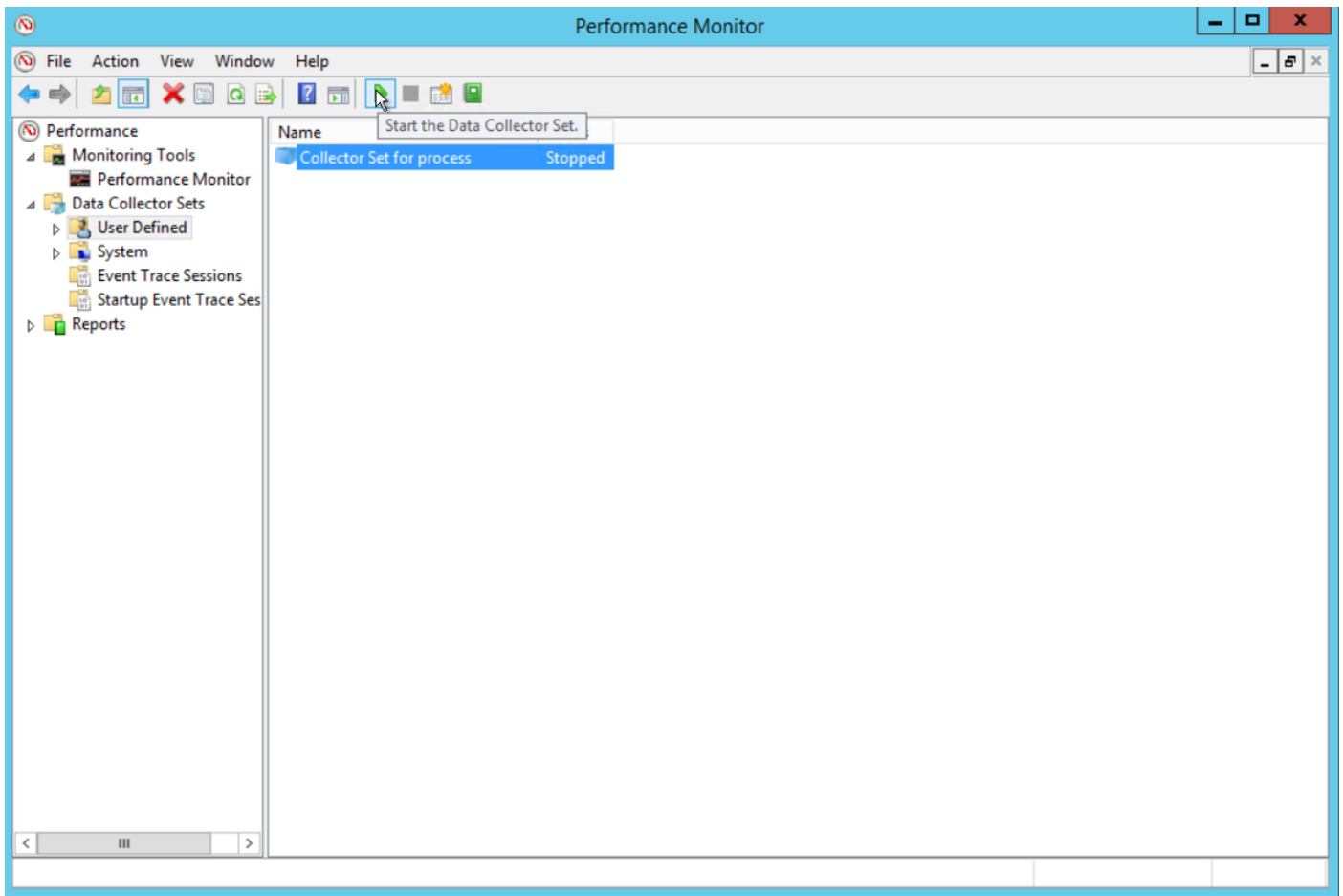
ステップ 10.保存されるために設定されるこのデータコレクタがほしいと思う挿入し、『Next』を選択して下さいルートディレクトリを。



ステップ 11. 『SAVE』 を選択し、閉じ、 『Finish』 を選択して下さい。



手順 12： データコレクタ セットはユーザーが定義するメニューから利用できます。データコレクタ セットを設定し、『Start』を選択するためにデータコレクタを選択して下さい。



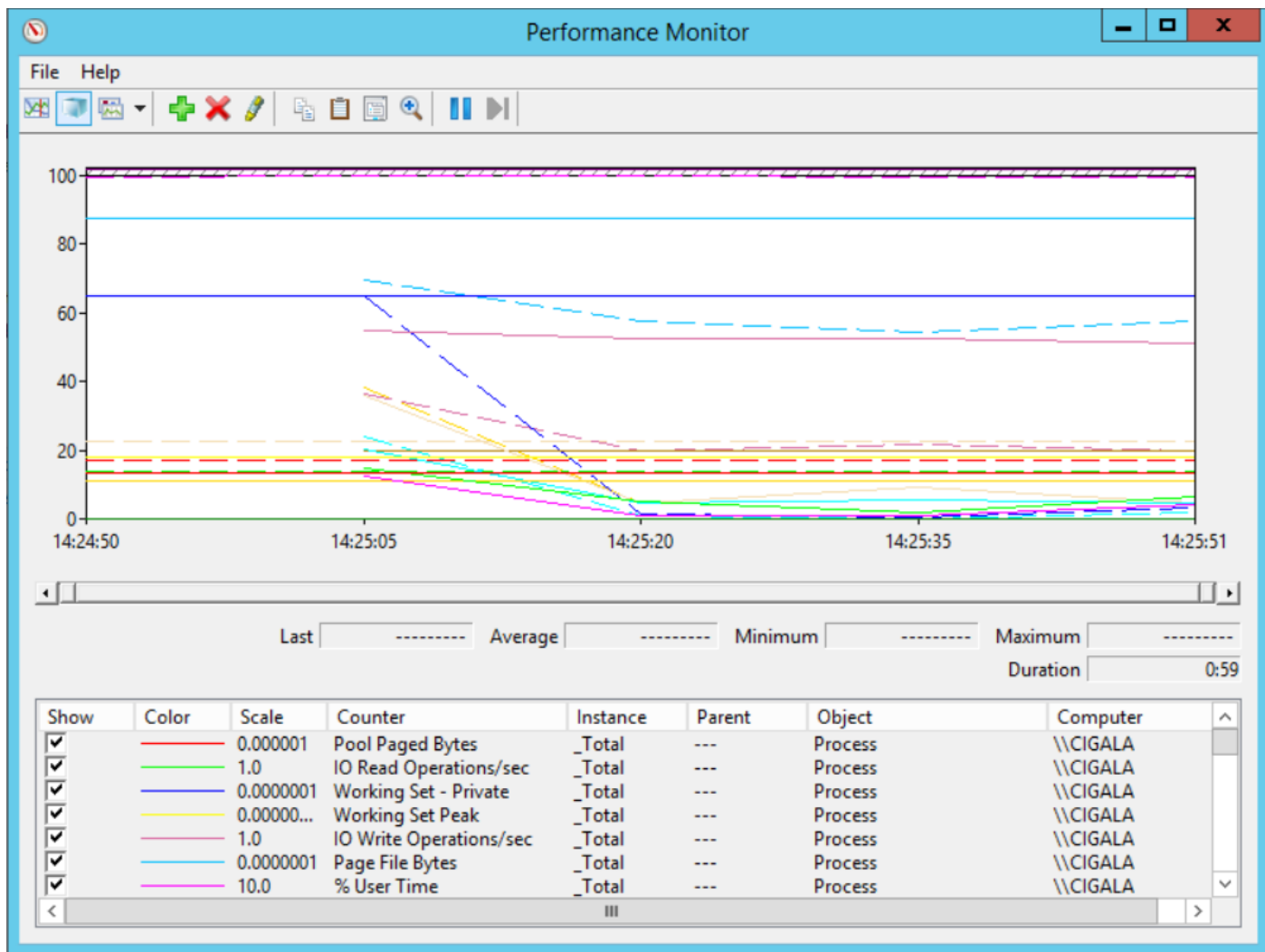
手順 13 : それを停止するために設定される データコレクタを『Stop』 を選択して下さい。

手順 14 : 新しいデータ収集装置 セットはステップ 10.で規定した ディレクトリにあります。

確認

データコレクタ セットが保存されるナビゲートし、Perfmon とすべての必要なデータが含まれていることを確認するためにそれを開いて下さいことディレクトリに。

これは Perfmon で表示する データコレクタ Set ウィンドウのスクリーン ショットです:



トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

関連情報

- [Microsoft から設定される データコレクタの作成の公式 ドキュメンテーション](#)